

Welcome to 沼土

令和8年5月1日

編集発行：静岡県沼津土木事務所港湾課

沼津 津波・高潮 防災ステーションの整備

沼津土木事務所が管理する海岸には、想定される駿河トラフ・南海トラフ沿いでの地震発生後、早いところで5分程度で津波の第一波が到達し、十数分後には5～8mの津波が来襲するものと予測されています。

これまで、県では、沼津港海岸から沼津牛臥海岸、静浦漁港海岸にかけ、堤防や水門、陸閘を整備し地震・津波対策を進めてきました。しかし、津波が迫る中での、水門や陸閘の現地操作は非常に危険であり、東日本大震災では多くの操作員の方が犠牲になりました。

このことから、県では、水門等の自動閉鎖をシステム化するとともに、沼津市と連携して、海岸から離れた市役所や土木事務所で津波や高潮被害の監視や情報収集を行い、状況に応じた的確な水門等の管理を一元的に行うため、『[沼津 津波・高潮 防災ステーション](#)』を整備しました。



■ 津波・高潮 防災ステーションの概要

水門等の自動閉鎖条件

地震：震度5強以上の地震
津波：大津波警報及び津波警報の発令



■ 事業概要

事業期間：平成21年度から平成29年度
総事業費：2,578百万円
(河川) 490百万円 (漁港) 1,524百万円 (港湾) 564百万円

事業名：農山漁村地域整備交付金ほか

対象施設

所管海岸区分	水門	陸閘
沼津港海岸（国交省港湾局）	1	3
沼津牛臥海岸（国交省河川局）	1	2
静浦漁港海岸（水産庁）	2	18
計	4	23

操作局

Jアラートからの情報とともに、操作局や基地局に備えた地震計が震度5強以上を感知すると、基地局に信号を発信し、水門等の自動閉鎖を行います。また、監視カメラ等を利用した、水門等の遠隔操作や遠隔監視も可能であり、沿岸部の津波や高潮被害の情報収集を行います。

基地局

操作局が発した信号を受信し、水門、陸閘への信号の送受信および電源供給を行います。

通信ネットワーク

操作局と基地局を光ケーブルで結び、バックアップとして無線回線も整備しています。

沼津市 津波・防災ステーション全体構成図

